

2023 年度年次大会 熱工学部門報告

第 100 期熱工学部門年次大会委員会

委員長 角田 直人 (東京都立大学)

幹事 小山 幸平 (東京工業高等専門学校)

日本機械学会 2023 年度年次大会は、「機械工学の英知を結集しゼロエミッション社会を拓く」をキャッチフレーズに 9 月 3 日 (日) ~ 6 日 (水) にわたって、東京都立大学南大沢キャンパスで開催されました。昨年度に続き現地開催となり、大きなトラブルもなく無事終えることができました。「安全安心」、「グリーン&デジタル」、「共生社会」を大会テーマとして多数の発表が行われ、特に、多くの学生が発表したポスターセッションは盛況で、活発な議論が各所で交わされていました。

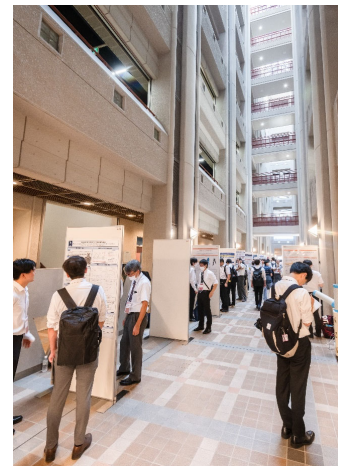
全体懇親会は新型コロナウイルス感染症への対策を万全にする理由から開催されませんでした。4 部門合同 (熱工学, 流体力学, 計算力学, 材料力学) の部門同好会を 4 年ぶりに開催することができました。場所は南大沢駅近くの居酒屋で、参加者は 19 名と多くはありませんでしたが、部門間のバランスはよく、合同開催ならではの忌憚のない意見交換が宴の盛り上がりとともに随分なされたように思います。

熱工学部門に関連するセッションとしては、年次大会の特色でもある部門横断セッションが 5 件企画され、38 件の口頭発表と 26 件のポスター発表が行われました。

- ・ J051 マイクロ・ナノスケールの熱流体现象 (流体工学部門, 熱工学部門, マイクロ・ナノ工学部門), 口頭発表 10 件, ポスター発表 13 件
- ・ J052 燃料電池・二次電池とナノ・マイクロ現象 (流体工学部門, マイクロ・ナノ工学部門, 熱工学部門, 計算力学部門, 材料力学部門, 動力エネルギーシステム部門), 口頭発表 6 件, ポスター発表 6 件
- ・ J121 IDCAE・MBD と物理モデリング (設計工学・システム部門, 機械力学・計測制御部門, 機械材料・材料加工部門, 流体工学部門, 熱工学部門, 計算力学部門), 口頭発表 8 件, ポスター発表 0 件
- ・ J181 交通・物流機械の自動運転 (交通・物流部門, 機械力学・計測制御部門, 技術と社会部門, 設計工学・システム部門, 機械材料・材料加工部門, 流体工学部門, 産業・化学機械と安全部門, 熱工学部門, 法工学専門会議, ロボティクス・メカトロニクス部門, スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門, 生産加工・工作機械部門, 生産システム部門, 情報・知能・精密機器部門), 口頭発表 12 件, ポスター発表 0 件
- ・ J241 医工学テクノロジーによる医療福祉機器開発 (医工学テクノロジー推進会議, 機械力学・計測制御部門, 流体工学部門, 計算力学部門, バイオエンジニアリング部門, ロボティクス・メカトロニクス部門, 情報・知能・精密機器部門, 材料力学部門, 熱工学部門, マイクロ・ナノ工学部門, 機素潤滑設計部門), 口頭発表 2 件, ポスター発表 7 件



東京都立大学南大沢キャンパス



活発な議論が行われたポスター会場

昨年度と比較すると、セッション数は 4 件ほど少なく、その分、口頭発表数が減少しました。この点で、セッションの企画や宣伝などの活動が十分でなかったことを痛感し、反省しております。次年度の年次大会に向けての課題として次期委員へ引き継ぎたいと思います。

また、例年どおり、熱工学に関連する講演に対して「若手優秀講演フェロー賞」の審査を行い

ました。審査を行うにあたりご協力を賜りました多くの先生には、この場をお借りして御礼申し上げます。しかしながら、最終的に審査対象者の合計が 20 名を下回ってしまい、機械学会の規定により、年次大会からはフェロー賞を推薦することができませんでした。優れた発表が多かっただけに残念な結果となりました。上述のとおり、口頭発表数が少なかったことに加え、学生による発表割合も少なかったことが要因といえます。表彰対象セッションについて広く早く知ってもらえるような工夫が必要かもしれません。

最後になりましたが、年次大会の企画・運営にご尽力いただきましたオーガナイザー、講演者、座長の皆様に厚く御礼申し上げます。愛媛大学で開催されます 2024 年度年次大会では、さらに多くの皆様のご参加によって、研究交流と親睦を深められる機会になりますよう祈念いたします。